

図書館通信



画：長田 清（登別美術協会）

豊かな時間を図書館で

令和3年
(2021年)

12



月号

第487号 (第40巻第8号)

【目次】

- | | | | |
|-----|------------|------|--------------------------|
| P 1 | 年末年始休館のご案内 | P 6 | 職員コラム |
| P 2 | 行事と展示のお知らせ | P 7 | 職員のおすすめ本 |
| P 3 | 事業のご案内と報告 | P 8 | 新着図書案内 |
| P 4 | アーニス分館だより | P 12 | カレンダーとお知らせ、
図書館施設のご案内 |
| P 5 | 市民のひろば | | |

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324

FAX (0143) 85-4325

年末年始休館のお知らせ

登別市立図書館・アーニス分館・移動図書館車こぐま号・
鷺別配本所・登別配本所は

2021年12月29日（水）

～2022年1月3日（月）

の期間、休館いたします。

また年末年始の休館中は、**返却用ブックポストは利用できません。**

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

※2022年1月4日（火）より通常開館いたします。

今年も図書館をご利用いただき

ありがとうございました。

来年もみなさまのご来館をお待ちしています。



映画会

※会場はどちらも図書館3階会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

今月は4日です！（毎月第1土曜日に開催しています）

こども映画会 「藤城清治 影絵劇」（影絵アニメ 約39分）
10時30分～ ◎人気シリーズから「マッチ売りの少女」他を上映します。
※次回は「」から「」他を上映します！

名画鑑賞会 「プロフェッショナル 仕事の流儀」（43分+43分）
13時30分～ ◎NHKの人気番組から「競馬調教師 藤澤和雄の仕事」
「パティシエ 杉野英実の仕事」の2本を上映します。
※次回も、今回と同じシリーズから「」
「」の2作品を上映します！

おはなし会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

おはなしぽけっと（ブラックパネルシアターでクリスマスのおはなし会）

日時 12月25日（土） 13時30分より



※今月はクリスマス工作を開催するため、「えほんのへやのおはなしかい」は休止します。

イベント・講座

第5回「やってみましょう！電子図書館」 ※定員 10名（当日先着順）

本年3月に開設したデジタル分館の利用方法などをご説明します。ぜひご参加ください。
※内容は過去4回の説明会と同様です。

日時：12月11日（土）14時～15時 会場：登別市立図書館 会議室

予告！ 雑誌の付録抽選会

本館で購入している雑誌の付録抽選会を開催します。
詳細は館内掲示・図書館HP、図書館通信2022年1月号にてお知らせします。

応募期間 1月15日（土）～2月20日（日）※応募券の配布も1月15日（土）から

ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます。

「クリスマスの本」

もうすぐ楽しいクリスマス！
クリスマスの絵本や物語の展示を行います。

期間：11月27日（土）～12月25日（土）



事業のご案内

クリスマス工作のご案内



折り紙やシールなど様々な飾りつけをして、自分だけのポップアップクリスマスカードを作りましょう！

日 時 12月18日(土)
1回目 10:30~12:00
2回目 14:00~15:30

場 所 3階会議室

定 員 1回目・2回目共に8組まで
(親子、またはきょうだいなど
2人で1組)

対象年齢 4歳児~小学生

申 込 12月7日(火)~12月17日(金) *開館時間内のみ受付
電話、または本館1階児童室カウンターまで。



事業報告

文化講演会「映画の始まりとは」を開催しました

11月3日(水・祝)、登別映像機材博物館館長の山本敏さんを講師にお招きして、標記講演会を開催しました。

近年は新型コロナウイルス感染症の流行により事業を中止せざるを得ない状況が続いておりましたので、図書館としても久しぶりの講演会となりました。

本講演では、映画機材やフィルムの歴史などについて解説して頂いた後、山本館長が撮影の際に体験されたお話なども交えて撮影にまつわる用語や技法などをご紹介頂きました。

普段なかなか聴くことのできないお話に惹き込まれた90分で、充実した文化の日となりました。

なお、今回の講演では新型コロナウイルス感染症の感染予防のため座席間隔を広く取ったことから、定員が少なくなっていました。

今後も暫くは事業の開催にあたって同様の対策を講じる見込みですので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



アーニス分館だより



アーニス分館では

- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ DVDを視聴できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ **新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。**



館内にイベント時の写真を掲示しています。
どうぞご覧ください！

イベント報告

緊急事態宣言により延期しておりましたイベントを
お陰様で10月16日(土)11時から当館内閲覧室
にて初めて開催する事が出来ました。

3名の方にご参加頂き、皆さんサクサクと素敵な
しおりを作っていました。

今後も皆さんに楽しんで頂けるイベントを考えて
行きたいと思います。

ご参加頂きありがとうございました。

スタッフ一同



お客様に作って頂いた
素敵なしおりたち



《新刊おすすめ紹介》

はじめての手作り小物

- 飾る
- 身につける
- 贈る



ぶきっちょさんでもできるかわいい30品！
 かつぱ 著 / ワニブックス 発行
 家にあるものや、100円ショップで手に入るもので作れる
 かわいい小物30品を紹介しています。作り方は全て写真
 付きで細かく説明してくれているのでわかりやすいです。
 楽しく作ってお部屋に飾ったり、アクセサリとして
 身につけたり、プレゼントしてみてもいかがでしょうか。



図書室の役割

図書館はどんな場所ですか？と聞かれたら、多くの人が本を読むところだと思えると思います。かくいう私も、図書館は本を読んだり調べものをしたりする場所、自習室で勉強をするところだと考えていました。

私が大学生だった頃、司書教諭の免許を取るための講義で「小学校図書館の役割は①学習のための情報センター、②読書センター、③心の安楽所です」と先生が話されていました。①情報センターとは、図書室は調べ学習をするための資料を揃えた場であるということ。②読書センターとは子ども達がそれぞれの興味に従って自由に読書を楽しむ場所であるということ、というのは理解していましたが、③「図書室は心の安楽所である」という言葉に当時の私は、（本を読む場所なのだから心が落ち着いているのは当たり前でしょ）くらいの考えで、いまいちピンと来ていませんでした。

現在、小学校の図書室に勤務していると図書室にはいろいろな学年の子が様々な目的をもって来室しています。休み時間の図書室では、さまざまな学年の子達が調べものをしていたり、本を読んだり、（静かに）すぐろくをしたり、ただ椅子に座って休んでいたり……と思ひ思いに過ごす姿が見られます。

中には、いつも友達と来室している子が、ずっと一人で過ごしていることもあり、見ていて心配にはなりますが、目当ての本が見つからなくて困っている時以外は、私からは極力話しかけずに見守るようにしています。友達と喧嘩をした後で誰とも話をしたくない子や、心を落ち着かせるために図書室に来ている子など、本を読むことが目的ではない子も来室しているからです。そういう子は大抵の場合、ふらふらと書架を眺めたり、気になる本をぱらぱらと見たりしているうちに心を切り替えて教室へと戻っていきます。（それでも表情が暗いままの子については担任にこそっと図書室での様子を伝えるようにしています。）

図書室で調べものをする、朝読書で読む本を選ぶ、自習をする、本を返却して借りる……明確な目的がなくても、ちょっと暇だから、教室に居づらいから、ただなんとなく……そんな感じで子ども達がふらっと立ち寄れる、心の安楽所としての図書室であつたらよいなと思ひ、図書ボランティアさんにお手伝いいただきながら図書室内の環境を整備する毎日です。



「プレゼント」

もうすぐ2021年も終わろうとしています。

今年もコロナで始まり、緊急事態宣言を繰り返し、その中においてワクチン接種が進み、感染者の減少が見られるようになりました。

未来に向けて、インフルエンザのように、感染したら手軽に服用できる経口治療薬の開発を望んでおります。

2021年の終わりの12月には、クリスマスという行事があります。

大勢でのパーティー等は出来ないにしても、家族や友達とのプレゼント交換を楽しむ方はいるのではないのでしょうか。

クリスマスというと、サンタクロースがソリに乗って空を飛び、子どもたちにプレゼントを配る姿が思い浮かびます。プレゼントが配られるようになったのは、4世紀ごろ、トルコに実在したニコラスという司教が始まりと伝えられています。ニコラスは、とても優しい心を持っており、貧しい人や子どもたちに、お金や食べ物を分け与えていたといわれます。

プレゼントって聞くと、やはり贈り物を思い浮かべるでしょう。

でもプレゼントには、別の意味もあるのです。

ここに絵本作家の「いもとようこ」さんの『まいにちがプレゼント』（金の星社発行）という作品の一部を紹介します。

目の前の雲は 昨日と同じ雲ではありません。

吹く風は 昨日の風とは違います。

毎日朝が来て、今日は昨日に、明日は今日になる。

時間は誰にでも平等に流れていく。

一生は 一日のあつまりです。

一日として おなじ日はありません。

一瞬も おなじ一瞬はありません。

あなたも 昨日のあなたではありません。



今とは何か、時間とは何かを描いた人生に大切なメッセージです。

今日は「今日」と書きます。英語で「今」のことを Present というそうです。

私達は毎日新しい「今日」をプレゼントされているのかも知れません。

私達は、一日、一瞬を大切に、また明日という日がプレゼントされるように生きていきましょう。

「 錯視芸術図鑑 1 」

北川 玲／訳 創元社／発行

階段の絵だと思ったら、よく見ると実際にはありえない形になっている絵などを見たことはありませんか。錯視とは「形、大きさ、長さ、方向、色などが客観的に測定される状態とは違った見え方を生ずる現象」(広辞苑)です。一見すると気づかなかつたりするのですが、違和感がありよく見ていくうちに、どんどん惹きこまれてしまいます。

この本には様々なアーティストやスタイルの作品が掲載されています。花の絵が人の顔に見えたり、絵なのに動いているように感じたり、本を上下逆さまにしてもどちらからでも読める文字や写真の作品もあります。

隠れているものを探す楽しみもありますが、見えないこともあります。以前は気づかなかつた点に気づいたりと違う見え方がするのも不思議です。自分が一方向からしか見ていないことに気づかされ、柔軟な視点を持ちたいと思いました。どのページからでも楽しめる本で第2巻も出版されていますので、併せてぜひご覧ください。



電子書籍紹介



「 だまし絵でわかる脳のしくみ 」

竹内 龍人／著 誠文堂新光社／発行



電子書籍にも錯視の本はあるのかと思いフリーワードで検索したところ該当した本です。私達が暮らす世界は3次元ですが、目の網膜はスクリーンのようなもので2次元的な表現になります。しかし平たく見ることがないのは、脳内で3次元の世界を作り上げているからだそうです。瞬時に出来ているところがすごいです。こちらの本にもだまし絵は、たくさん掲載されていますがそれだけでなく、なぜそう見えるのか脳の働きなどを分かりやすく解説しています。

いつもなら違いを見分けようと本を顔に近づけてじっと見ているのですが、電子図書は画面の拡大が出来るので楽に見ることが出来ました。本を逆さまにして見るページがあるのですが、パソコンで見るよりは紙の本の方が見やすいと私は感じました。

電子書籍でしか所蔵していない本もありますので、フリーワード検索やジャンルの詳細を見て探してみてください。

新 着 図 書 案 内 令 和 3 年 1 2 月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
0 総記		知識ゼロからの空き家対策	杉谷 範子 名和 泰典
デジタル・ファシズム 日本の資産と主権が消える	堤 未果	ジョブ型雇用社会とは何か	濱口 桂一郎
● 開高健の本棚	開高 健	● ノーベル文学賞が消えた日	マティルダ・ヴォス・ グスタフソン
子ども、本、祈り	斎藤 惇夫	決闘のヨーロッパ史	浜本 隆志 菅野 瑞治也
● 絶滅危惧動物図鑑	藪本 晶子	家族不適応殺	インベ カマリ☆
絶滅事典	造事務所	ヤングでは終わらないヤングケアラー	仲田 海人 木村 諭志
1 哲学・宗教		PTAモヤモヤの正体	堀内 京子
13歳からの億万長者入門	ジェームス・ マッケナ ほか	● ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー 2	ブレイディみかこ
盾と矛	ロバート・フェルドマン 加藤 晃	入試改革はなぜ狂って見えるか	物江 潤
辛口サイショーの人生案内DX	最相 葉月	ウチの江戸美人	いずみ 朔庵
図説新約聖書の考古学	杉本 智俊	懐かしくて新しい「銭湯学」	町田 忍監修
2 歴史・地理		団体旅行の文化史	山本 志乃
● 女性皇族の結婚とは何か	工藤 美代子	山に生きる 失われゆく山暮らし、山仕事の記録	三宅 岳
北里柴三郎 感染症と闘いつづけた男	上山 明博	アイヌ説話集 1888年の“幻の説話”	B. H. チェンパレン/ J. パチュラー
早すぎた男 南部陽一郎物語	中嶋 彰	自衛隊はアフリカのジブチで 何をしているのか	小山 修一
ヒトラー 虚像の独裁者	芝 健介	いまどきの「ドイツ」と「日本」	マライ・メントライン ほか
図説江戸の旅名所図会の世界	深光 富士男	4 自然科学・医学	
宮脇俊三の紀行文学を読む	小牟田 哲彦	物理・化学大百科事典	沢 信行
日本列島地名の謎を解く	谷川 彰英	遺伝子命名物語	坪子 理美 石井 健一
日本の路地	パイ インターナショナル	野草譜	奥田 實
るるぶ もふ旅 かわいい動物に会いに行く	JTBパブリッシング	うんち学入門 生き物にとって「排泄物」とは何か	増田 隆一
シェルパの友だちに会いに行く エベレスト街道日誌2021	石川 直樹	魚にも自分がわかる 動物認知研究の最先端	幸田 正典
知られざる古墳ライフ	譽田 亜紀子	● クマさんの野鳥日誌	熊谷 勝
3 政治・経済・社会・教育		知って楽しいカモ学講座	嶋田 哲郎
それでも選挙に行く理由	アダム・ プシェヴォスキ	人体大全	ビル・ブライソン
ウイグル人という罪 中国による民族浄化の真実	清水 ともみ	呼吸の科学	石田 浩司
● 警視庁公安部外事課	勝丸 円覚	人生100年時代の脳科学	中村 克樹
警察庁長官	野地 秩嘉	1万人の脳を見た名医が教える すごい左利き	加藤 俊徳
事件でなければ動けません 困った警察官のトリセツ	古野 まほろ	いつまでも消えない痛みの正体	牛田 享宏
消えた「四島返還」	北海道新聞社	● 認知症世界の歩き方	寛 裕介
欲望の資本主義 5 格差拡大	丸山 俊一	コロナワクチン3回目打ちますか？	志賀 貢
図解まるわかりDXのしくみ	西村 泰洋	はじめての精神医学	村井 俊哉
税金の世界史	ドミニク・フリスビー	図解最新医学でわかった 突然死にならない方法	高沢 謙二

新 着 図 書 案 内 令 和 3 年 1 2 月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
最良の身体を取り戻す	山口 創	おかあさんライフ。 毎日一緒におさんぽ編	たかぎ なおこ
ココが知りたかった！ 目の病気のメカニズム	飯島 裕幸	6 産業・商業	
死体格差 異状死17万人の衝撃	山田 敏弘	● いぬ大全304	藤井 康一
定点観測新型コロナウイルスと 私たちの社会 2021年前半	森 達也	ペットが死について知っていること	ジェフリー・M. マッソン
40歳からの予防医学	森 勇磨	「木」から辿る人類史	ローランド・エノス
世界を変えた10人の女性科学者	キャサリン・ホイットロック/ ロードリ・エバンス	● 板目・柱目・木口がわかる木の図鑑	西川 栄明
オートミール健康レシピ	植草 真奈美 ほか監修	きのこ図鑑	牛島 秀爾
5 技術・工業・家事		● タクシードライバーぐるぐる日記	内田 正治
10年先まで着られる服	香田 あおい	車掌出てこい！英語車掌が打ち明ける 本当にあった鉄道クレーム	関 大地
リフォームの魔法 捨てられない服がよみがえる！	檀 正也	日本懐かしラジオ大全	川野 将一
きもの語辞典	岡田 知子	7 芸術・スポーツ	
スカーフ、ストール、マフラーの巻き方	鈴木 香穂里監修	● 『北の国から』黒板五郎の言葉	倉本 聰
身につけたいあったかニット 帽子、手袋、巻き物、ソックス	NHK出版	● どうやら僕の日常生活はまちがっている	岩井 勇気
かぎ針で編むクリスマス雑貨	アップルミンツ	打ち返す力	水谷 隼
棒針で編むソックス		プロ野球ヒストリー大事典	長谷川 晶一
手編みの冬のセーター	成美堂出版編集部	山小屋クライシス	吉田 智彦
おうち時間で編む毎日のニットこもの	ブティック社	百葉帖	雨宮 ゆか
家で編みもの	朝日新聞出版	百花帖	
てぶくろ人形とわたし	長縄 泰子	万年筆画の教科書	古山 浩一
ヘアゴム1本でなんとかする	保科 真紀	もっと知りたい延暦寺の歴史	久保 智康 宇代 貴文
笠原将弘のまかないみたいな自宅飯	笠原 将弘	8 言語	
「からだ温め」万能だれで 免疫力アップごはん	藤井 恵	1秒で心をつかめ。	魚住 りえ
● これがほんとの作りおきのきほん 図解レシピ	重信 初江 小竹 貴子	知的文章術入門	黒木 登志夫
913 日本の小説			
生姜屋さんとつくったまいにち生姜レシピ	こてら みや	● 涅槃 上・下	垣根 涼介
ポウルで仕上げるおいしいレシピ	市瀬 悦子	● ミカエルの鼓動	柚月 裕子
ムズカシイことぬき！きほんの和食。	村田 明彦	● ルパンの絆	横関 大
有元葉子 乾物	有元 葉子	月夜の羊(紅雲町珈琲屋こよみ 9)	吉永 南央
ひとりぶん、 ふたりぶん刺身パックでさかなつまみ	栗原 友	子のない夫婦とネコ	群 ようこ
● 野菜はやわらかく煮るほどおいしい	飛田 和緒	老虎残夢	桃野 雑派
大人のチーズケーキとチーズのお菓子	石橋 かおり	月と日の后	冲方 丁
今日の3時にまにあうおやつ	婦人之友社	かぞえきれない星の、その次の星	重松 清
いまさら聞けない箸の持ち方レッスン	中原 麻衣子	● 本が紡いだ五つの奇跡	森沢 明夫

新 着 図 書 案 内 令和3年12月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		名画小説	深水 黎一郎
EV	高嶋 哲夫	ゴースト・ポリス・ストーリー	横関 大
女子大小路の名探偵	秦 建日子	死者にこそふさわしいその場所	吉村 萬壺
脇坂安治 七本鎗と水軍大将	近衛 龍春	パラダイス・ガーデンの喪失	若竹 七海
僕の種がない	鈴木 おさむ	オルレアン魔女	稲羽 白菟
謁見 (高家表裏譚 4)	上田 秀人	わたしのいないテーブルで(デフ・ヴォイス4)	丸山 正樹
● 隣人の愛を知れ	尾形 真理子	● 民王 シベリアの陰謀	池井戸 潤
播磨国妖綺譚	上田 早夕里	● ブルースRed	桜木 紫乃
Disruptor金融の破壊者	江上 剛	● 三国志名臣列伝 魏篇	宮城谷 昌光
カミサマはそういない	深緑 野分	ベツパーズ・ゴースト	伊坂 幸太郎
開城賭博	山田 正紀	輝山	澤田 瞳子
君の顔では泣けない	君嶋 彼方	● 邯鄲の島遥かなり 中	貫井 徳郎
子供は怖い夢を見る	宇佐美 まこと	舞風のごとく	あさの あつこ
トリカゴ	辻堂 ゆめ	● 砂に埋もれる犬	桐野 夏生
居酒屋「一服亭」の四季	東川 篤哉	● 北緯43度のコールドケース	伏尾 美紀
二十一時の渋谷で キネマトグラフィカ	古内 一絵	N	道尾 秀介
あかずの扉の鍵貸します	谷 瑞恵	9 その他の文学	
国萌ゆる 小説原敬	平谷 美樹	運命の謎 小島信夫と私	三浦 清宏
オリンピックにふれる	吉田 修一	90歳、こんなに長生きするなんて。	曾野 綾子
焼けた釘	くわがき あゆ	● 妻から哲学 ツチヤのオールタイムベスト	土屋 賢二
賭博常習者	園部 晃三	● 作家と酒	平凡社編集部
● 陰の人 (吉原裏同心 36)	佐伯 泰英	おんなのじかん	吉川 トリコ
乱世を看取った男山名豊国	吉川 永青	● 歴史というもの	井上 靖
北条義時 小説集	海音寺 潮五郎	今夜もそっとおやすみなさい	小手鞠 るい
短編ホテル	集英社文庫編集部	● あのころなにしてた?	綿矢 りさ
ゆびさき怪談 一四〇字の怖い話	岩城 裕明	おはしさま 連鎖する怪談	三津田 信三
● 熱風団地	大沢 在昌	● 狙われた楽園	ジョン・グリシャム
地中の星	門井 慶喜	● 魔の山	ジェフリー・ディーヴァー
カラ売り屋vs仮想通貨	黒木 亮	だれも死なない日	ジョゼ・サラマーゴ
● 邪教の子	澤村 伊智	シルバー川柳 太陽の季節編	みやぎ シルバーネット
帆神 北前船を馳せた男・工楽松右衛門	玉岡 かおる	超シルバー川柳 毎日が宝もの編	
● 教場X 刑事指導官・風間公親	長岡 弘樹	日本の地名詩集	金田 久璋 鈴木 比佐雄
逆玉に明日はない	楡 周平	言葉の人生	片岡 義男

令和3年11月 予約ランキング

* 電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています

文芸書 (9門)

書名	著者	出版社	予約人数
1 白鳥とコウモリ	東野 圭吾	幻冬舎	81
<p>幸せな日々はもう手放さなければならない。違法駐車されていたセダンから、発見された善良な男性弁護士の遺体。「すべての事件の犯人は私です」一人の男が殺害を自供し事件は解決ー一のはずだったが…。</p>			
2 52ヘルツのクジラたち	町田 そのこ	中央公論新社	77
<p>自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、生まれる物語とは。</p>			
3 透明な螺旋	東野 圭吾	文藝春秋	73
<p>愛する人を守ることは罪なのか-。房総沖で男性の遺体が見つかった。失踪した恋人の行方をたどると、関係者として天才物理学者の湯川学の名が挙がるが…。「探偵ガリレオ」シリーズ10作目。</p>			
4 心淋し川	西條 奈加	集英社	60
<p>江戸の片隅、小さな川沿いに立ち並ぶ古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた-。懸命に生きる喜びと哀しみが織りなす、渾身の時代小説。</p>			
5 小説8050	林 真理子	新潮社	48

実用書 (0門-8門)

書名	著者	出版社	予約人数
1 老いの福袋	樋口 恵子	中央公論新社	17
<p>老年よ、大志とサイフを抱け! 「調理定年」してもいい! 介護され上手になろう! 老いの時期を楽しく快適にするアイデアや、ちょっぴり怖い現実など100年時代を生きる人に勇気を与える日常痛快エッセイ。</p>			
2 大事なものを捨てなさい	中村 メイコ	講談社	9
<p>「いちばん大事なもの」から捨てないと人生の最後を身軽に生きることはできない。最後の片付けのコツ、健康との向き合い方、家族との距離感。87歳で行き着いた「身軽で愉快的暮らし」を綴る。</p>			
2 ぼくのお父さん	矢部 太郎	新潮社	9
<p>ずっと家にいて、一緒に遊び絵を描く、絵本作家のぼくのお父さん。ただの変わり者? それとも、理想のお父さん? 「大家さんと僕」の著者が実の父を描く、ほのぼの家族漫画。</p>			
3 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2	ブレイディ みかこ	新潮社	8
<p>授業でのスタートアップ実習、助け合ってきた隣人との別れ、そして母の国での祖父母との旅-。13歳になった「ぼく」は「事件」続きの暮らしの中で、大人へのらせん階段を昇っていく。親子の成長物語、完結。</p>			
5 娘の遺体は凍っていた 旭川女子中学生イジメ凍死事件	文春オンライン特集班	文藝春秋	6

(2021年11月16日現在)

改修工事完了のお知らせ

10月より本館で行っておりました暖房用ボイラー煙突の補修工事ですが、11月5日をもちまして作業が無事完了いたしました。

補修工事期間中は騒音や工事車両等において、また館内暖房が使用出来なかったことなど利用者の皆さまには大変ご不便をおかけ致しました。

長期間に渡り、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。



登別市立図書館

図書館カレンダー 令和3年(2021年) 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				分館休館		映画会
5	6	7	8	9	10	11
	本館休館		ブックスタート	分館休館		電子図書館説明会
12	13	14	15	16	17	18
	本館休館			分館休館		クリスマス工作
19	20	21	22	23	24	25
	本館休館		ライブラリースタートおはなし会	分館休館	24 図書整理日 本館休館 分館休館	おはなしほけつと
26	27	28	29	30	31	1/1
	本館休館		年末年始休館 (12/29~1/3) 分館・配本所・こぐま号も全て休館			

図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	85-4324
休館日	月曜日・祝日・年末年始 毎月最終金曜日	木曜日・年末年始 毎月最終金曜日	年末年始のみ		日曜日・月曜日・ 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	巡回表のとおり